

令和八年、上山棚田の稲株主制度

上山棚田の稲株主制度は、棚田での農業や里山での暮らしに楽しく関わっていただけるように始めた制度です。
稲株主の皆様には、1口出資で棚田に植えられた稲株を100株保有していただきます。皆様の顔を思い浮かべると、田植えや稲刈り、日々の水管理など、棚田での米づくりを頑張る私たちのチカラとなります。
棚田で育つ稲株の主として、どうぞ応援よろしくお祈りいたします！

【稲株主制度の特典】

- ① 1口あたり棚田米 5kg
収穫量によってお届けできるお米の量が増減する場合があります。
- ② 稲株主総会の議決権
7月に開催する株主総会の議決権です。後の活動についての意見交換も行います。
- ③ 稲株主優待特典
対象の上山産品の購入や、集落内の提携宿で割引などの特典が受けられます。（*詳細は申込みページにて）
- ④ 稲株主共同作業イベントへの参加権
お米づくり作業や株主総会、収穫祭のイベント参加権です。棚田での暮らしを身近に感じてください。

【稲株主様スケジュール】

4/29 (水)	6/14 (日)	6/28 (日)	7/26 (日)	9/13 (日)	11/1 (日)
かけいで掃除	田植え	草取り	稲株主総会	稲刈り	収穫祭

* 作業日は生育状況によって変更の可能性あり
共同作業日以外も農作業を一緒に行える
稲株主の方々は公式LINEやメールにて
お気軽にご連絡ください。

上山棚田の稲株主制度のお申込み

* インターネットからのお申込みのみになります
<https://tanadadan.org/relation.html>

＼お申込はこちら／



棚田団公式instagram,facebook

* 棚田団の活動や日常、イベント情報を発信しています。



特定非営利活動法人 英田上山棚田団
岡山県美作市上山 2135
代表理事 井上寿美
aidaueyama@tanadadan.org



令和七年度活動報告書

合い言葉は、

ラスト・ファースト

棚田での営みが、関わるひとみんなの暮らしを照らしますように。

英田上山棚田団は、

岡山県美作市上山地区(旧英田町上山)を拠点として耕作放棄地の再生、里山文化の継承を、地域と共に進める団体です。

奈良時代から棚田の歴史は始まっていたとされ、江戸時代の全盛期には8300枚もの棚田があったという上山地区。そんな山里も1970年代以降、耕作放棄地が増え続けました。

棚田団の活動が始まった2007年当時は棚田全体の9割以上が耕作放棄地となり、棚田は跡形もなく藪に覆われていました。

最初はひたすら草刈り、笹や竹の伐採をしては燃やす作業。そんなある時、地元の方から借り受けた3枚の田んぼでお米づくりを始めました。

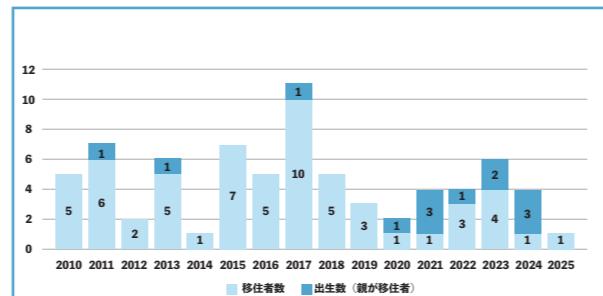
2011年にはNPO法人を立ち上げ、通い中心だったメンバーの中から徐々に移り住む者が現れ、棚田の再生が急速に進みました。2022年には、10ヘクタール以上の土地を管理し、以降上山地域の活性化、資源を活かした商品開発、自然体験の受入れなどを進めています。

棚田団は、ただ単に棚田でお米を作ることだけを考えているわけではありません。棚田でスポーツしたり、棚田でアートしたり、棚田で哲学したり。常に「棚田で〇〇する団体」ということで、棚田団と名付けました。



旧英田郡英田町は2007年に平成の市町村大合併で美作市と合併し、英田町の地名は消えてしまいました。英田の地名に愛着を感じていた住民からはずいぶん惜しまれたそうです。棚田団も地域の歴史や伝統文化を引き継ぐ姿勢を英田の名に込めています。

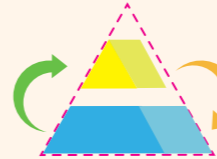
上山地区移住者および出生数(2010年以降)



移住および出生合計数 73人 - 期間内転出数 36人 = 差引増数 37人
上山地区総人口 143人 (2026年3月時点)

上山棚田の再生プロセス

地域で暮らす
多様な生業
の再構築



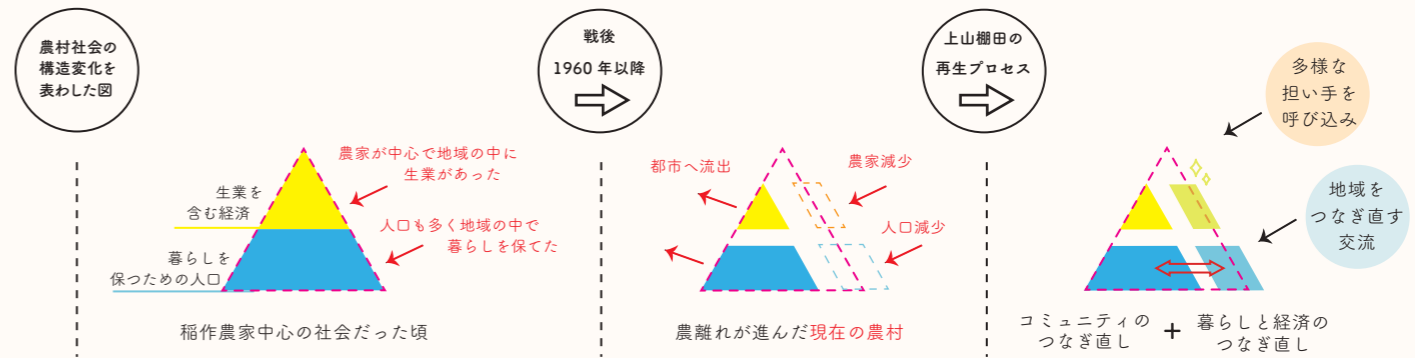
関わりが多様
性が支え合う
好循環へ

棚田再生から農村再生へと
展開した上山は下記の様な
時代の変遷で再生しています。



都市と農村の交流による 棚田保全

法政大学現代福祉学
部教授 / 岡司直也氏
(後述棚田の畑にて)



上山棚田の稲株主

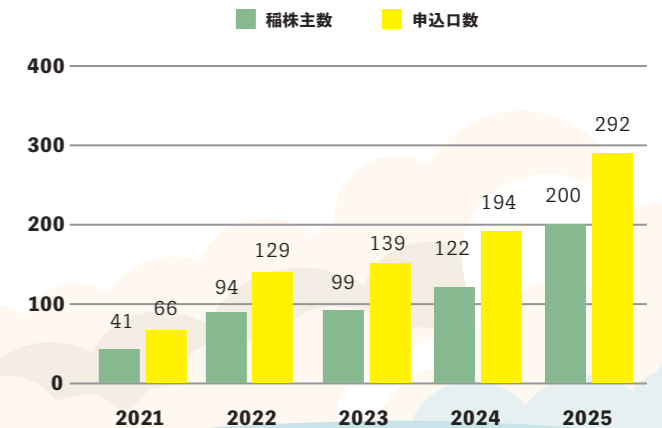
2021年(初年度) 41人 66口
→2025年 200人 292口に増加

多様な担い手を呼び込み



上山棚田の稲株主は、棚田での農業や里山での暮らしを体験していただくための制度。株券1口で棚田に植えられた稲株を100株保有して頂きます。稲株主の皆さんの顔を思い浮かべながら、苗づくりや田植え、収穫まで行えることは棚田での作付けをする私たちにとっても作業を頑張るチカラとなります。上山の棚田で育つ稲株の主として、どうぞ応援宜しくお願いします！

稲株主及び申込口数の推移



〇〇米友達/マイフレンズ

地域を
つなぎ直す
交流



岡山・神戸・東京・埼玉・大阪で開催。
5つの都市と6つの会場をまわりました。
2025年度は合計180名の方々と28.5升(42.75kg)の棚田米を完食



どこかの街で棚田米を食べながら語らう会です。棚田でのお米づくりを応援してくれたmyフレンズのため、初めて出会うmyフレンズのため、農閑期に棚田団メンバーが棚田の新米を持って街へ出かけます。お米だけは炊くので、皆さんご飯に合わせたいお薦めのおかずを持ってきてくださーい！というスタイル。米を炊きに行かせてもらえる場所ありましたらお声がけください。



稲株主スピンオフ企画

【上山棚田の野菜部】



進化する上山棚田の野菜部活動

前年度(令和6年度)に稲株主総会での声をもとに有志で結成した「上山棚田の野菜部」。2年目となる今年も昨年に引き続き秋冬野菜を植え付け、囲炉裏で鍋を囲んで宴会をすることを目標に8月末から活動を始めました。

白菜、大根、カブ、ホウレンソウ、チンゲン菜、水菜、春菊、小松菜、ジャガイモ、にんにくなど、たくさんの野菜を栽培しました。11月末にはスクスクと育った野菜で畑が埋め尽くされました。野菜の生育と共に稲株主同士の交流も深まり、活動日の前後は野菜部専用のLINEグループ内で活動報告や作業写真の共有が活発にやり取りされていました。年明け最初の活動では、集落内の落ち葉を集めて堆肥づくりをするなど、上山内の自然資源を使った活動により磨きがかかってきています！



漬物づくりに発展

無農薬でしっかりと結球した白菜が120玉以上できました！あまりにも順調に野菜ができたので、勢いあまって年末にはキムチづくりをしました。地域のお母さんに教わって仕込んだ大根のたくあん漬けも大成功！！



上山神社の新嘗祭で奉納

上山神社の新嘗祭にて、野菜部で作った野菜を奉納。宮司さんからは「立派な野菜を奉納いただき、上山の神様にもお喜びいただけます。」といったお言葉をいただきました。



今や野菜部だけにとどまらない・・・

神戸から「稲株主バンド」現る！上山棚田の収穫祭にてお米にまつわるオリジナルソングを披露してくれました。



令和8年度は

サツマイモ部、ジビエ料理部など発足予定。
その他にも様々な棚田で〇〇を地域内外問わず様々な方と共に実現させていきます！



1月17日 岡山米友達
会場/カワズブルーイング
32名参加 棚田米4升完食



2月14日 神戸米友達
会場/MUSUBU堂
30名参加 棚田米5升完食



2月27日 東京米友達 DAY1
会場/はぐくむ湖畔
16名参加 棚田米3.5升完食



2月28日 東京米友達 DAY2
会場/パティオ四ツ谷店
38名参加 棚田米5升完食



3月1日 埼玉米友達
会場/八緒やど
32名参加 棚田米5升完食



3月14日 大阪米友達
会場/大阪保健福祉専門学校
31名参加 棚田米6升完食

稲株主総会

令和7年度の稲株主総会も7月27日に開催されました。

稲株主さまの人数も年々増え大変嬉しい限りです。稲株主総会への出席者も多く、多様な意見が交わされています。大切なお意見ばかりなのでできる限り掲載させていただきます。

稲株主総会での意見

稲株主総会ではこれからの上山での活動に関する様々な話が出ましたが、経費やお米の価格が跳ね上がったここ数年では特に重要な話である「価格の改定について」意見をお聞きました。非常に参考になるご意見が多く、皆さんの声をもとに勇気をもって稲株主制度1口あたりの価格改定(7500円→10000円)にふみきりました。大変ありがたいことに、価格が上がっても92%の方が稲株主としてのご支援を継続してくれています！運営側の一方的な決定ではなく、相談できる稲株主の方々が数多くいることが上山の棚田や周辺の環境を保全していく強みとなっています。

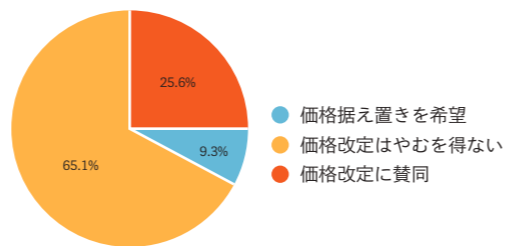
価格改定に関する稲株主のご意見



- 活動が続いて行くことが第一だと思います。ぜひ無理のない価格設定にしてください。
- 価格改定とは関係ありませんが、毎年の稲株主更新の際に継続の意向確認、もしくは新年度更新(支払い)のお知らせが届くしくみを作って欲しいです。申し込みの際に注意書きはありましたが、自動で更新されて知らない間に請求引落しされているので少しモヤモヤします。よし！今年も応援するぞ！始まるぞ！という気持ちスイッチが入るきっかけがあれば嬉しいです。
- これからの米相場を考えると、1俵23,000円~25,000円が妥当な状況になってくると思います。そこを参考に議論してもいいかと思っています。
- 棚田団の皆様の棚田の再生、里山の保護等の活動に対して感動と感謝と応援の気持ちで稲株主になりました。丹精込めて作られたお米を送ってもらうことを考えますと、寄付の部分が少な過ぎて申し訳ないと感じています。なので、価格改定していただくことに賛同致します。
- イベント等の昼食代も情勢に合わせて変更してもいいと思います。
- 据え置きの方が有り難いが、活動を維持することが最優先だと思うので、価格改定はやむを得ないと思う。
- 経費を考えれば相当価格だが、消費者としては少し価格を下げてください。
- ひと口7500円は安いと思っていました。
- 継続することが目的と思ってるので、物価高などを考えると改定は今後必要な判断になると思います。
- 値上げは物価高の中でやむを得ません。私は応援の意味合いが多いので気にしません。
- 全ての購入品の価格が上がっていることは皆様承知のはずで、もともと付加価値を付けて(可能な限り無農薬、大型機械が入れない棚田、でもこの気候と土地を利用して旨い米作りに時間と労力をしっかり掛けてます🌱)美味しいお米を作っています。必要な経費が必要なものに使われているので、しっかり納得のいく説明があれば何も問題は無いかと把握しています😊
- 実際に上昇している経費についての反映はやむを得ないと思います。お米の値段が上がっているからという理由で上がると、「？」と思ってしまいます。
- 棚田団の活動を維持継続していける価格設定へ改定していただければと思います。

稲株主制度の1口7500円の価格について

(43件の回答)



稲株主総会で集まった稲株主たちの声

米 騒動があったので、ますます米作りのありがたみを感じています。できる事があればよくちょく参加したいです。でも毎日の作業に比べればなんて事はないですね。大変だと思いますが頑張ってください。美味しいお米が沢山取れますように。



盛 り立てていく！棚田団の皆さんと一緒に、出来ることをしっかりガッツリ関わり合って、必要とされるボランティアを目指して頑張るので必要と思ってもらえれば嬉しい限りです🌱(上山ラブなので)。今後もしっかりお願いします。*:+.\((° ω°))/:+"

稲 株主制度は、単にお米が送られてくるだけではなく、好きなときにいろいろな田んぼ体験ができる「田んぼのサブスク」です。皆さんもっと上山に行きましょう。

初 めて子連れで参加しました。子どもたちにも負担が無いように送迎を小まめにしてもらえたり、遊び場が増えていたりといろいろと行き届いた対応をもらえてありがたかったです。なかなか普段の生活では経験できない事がたくさんできたので、今後でもできる範囲で参加したいです。もっと近くだと良いのですが…笑。今回から稲株主になり、LINEによるイベントや田んぼの状況のお知らせも、上山が身近に感じられて嬉しいです。いつも大変な作業をありがとうございます。また遊びに行けることを楽しみにしています。

棚 田団の皆様方の明るく気持ちの良いエネルギーに、活動の報告を拝見するだけでもいろいろなものが伝わってきて元気を分けてもらっています。たくさんの若いご家族などが、満面の笑みでイキイキとお米作りや、野菜作りに参加されているのを見ても、そういうことを大切に思い実際に行動していける素晴らしさ、尊さに感動して、未来への希望を感じます。これからも楽しく頑張りたいです。何もお手伝い出来ませんが、このような愛のある場所と繋がれていることに感謝の気持ちでいっぱいです。高原先生のフラワーエッセンスの研修で訪れる上山は私にとっては心の故郷的な存在になり、今、研修場所の近くの風景を絵に描いています。心癒される里山を思い浮かべるだけで幸せな気持ちになります。本当にいつもありがとうございます。

先 日、草取りに参加いたしましたが、自然に囲まれた中で、作業でリフレッシュできました。この活動がこれからも続けられることを応援しております。



た くさんの力が集まって棚田が守られ、いろいろな楽しい企画によって活気づいておられるさまに感動をし、とても大きな希望や勇気。力をいただいております。棚田米も、本当に美味しいです!!! これからも、どうぞよろしくお願いいたします!!!

今 年は地元(神奈川)で棚田での米作りを習い始め、皆様の苦勞が少しだけ感じられるようになってきています。「棚田を復活させ維持していく」、これを最初に考え、実行された皆様の意思の強さと行動力に感服しています。遠方のためお手伝いはできませんが、応援してますので頑張ってください。

な かなか伺うことが叶いませんが、いつも皆さんの活動報告を楽しみにしていますし、応援しています！



次のページへ続く



写真左 / 慈恵学園グループの辻林さん
写真右 / 棚田団のくまさん

今年度は毎月お邪魔しております。私は普段から福祉教育に携わっておりますが、恥ずかしながら隣近所の方々がどんな方かも知らず、地域の方々との関係性が希薄なまま暮らしております。そんな生活の中で棚田団の方々の活動に参加することが増え、"人のつながり"について改めて考える機会となっております。本校の学生たちも今回、活動に参加し、たくさんの感想を述べておりますので、以下にまとめました。お時間ございましたらご一読ください。

棚田での田植え体験や、上山棚田を軽トラで案内していただきありがとうございました。今回の田植え作業もですが、安全に楽しく過ごせたのは棚田団の皆さんのお陰だと感じます。僕たちも学校ぐるみでお世話になっていて、棚田団の活動で、すごく貴重な体験をさせていただいてると思っています。僕たちも地域福祉をするなかで、地域住民との関わり方や地域創生の方法を学び、他の活動でも活かして行きたいと考えております。ありがとうございました。

家でも田植えはしているのですが、手作業で行うのは初めてで、とても新鮮な経験になりました。お米の大切さを、改めて実感することができた一日でした。

棚田の農業活動を通じて関わる人が増えていく面白さをとても感じました。共同作業 = 仲間という感覚が体験できるのが良いと感じました。

／ 植えたものの回収に行きたいです ^^ /

田んぼを維持するだけでも本当に大変そうだなと実際に行ってみて思いました。あと、軽トラの荷台に乗せてもらった時ものすごく楽しかったです。大阪では味わえない経験をありがとうございました。

ひとつ提案というほどのものではないのですが、もし可能であれば...という気持ちでお伝えいたします。現実的に考えるといろいろと課題は多いと思うのですが、竹などを使って竹灯籠を作り、幻想的な雰囲気を出したり、美作の特産物を使った屋台を出したりして、棚田をより多くの方に知っていただけるようなイベントができれば素敵だなと感じました。実現には難しさもあるかと思いますが、一つのアイデアとして受け取っていただければ幸いです。今後のご活動も応援しております。また何かの機会にご一緒できましたら嬉しいです。

裸足になって活動しながら棚田の方ともお話ができて、皆さん活気があって私も楽しく田植えをする事ができました。

田植えをしていた時に、「～の管理は～がしている」とか「～さんの家にはニワトリを飼っていて毎朝卵食べてるって～」とか、「今日もあの子達元気～」とか話していて、顔の見えるネットワーク？ってこういう事なんやなって感じました。毎日顔合わせるわけじゃないかもしれないけど、みんなが楽しく田植えしているって幸せな事だなって感じました。

田植え体験をした中で、普段自分達が当たり前で食べているお米が、こんなにも苦労してできているものなんだと、改めて感じる事ができました。

水路掃除完了後のひとコマ



いつも活動報告を楽しみに拝見しています。棚田での米作りの様子が写真付きでもとても分かりやすいです。また、お米も注文して食べましたが、甘くてとても美味しかったです。今年は始めたばかりで、1年を通してどんな活動をしているのか、稲株まっってどんな感じなのか知れたらと思います。賑やかなことが少し苦手なので、ひっそりと自分のペースで応援できたらと思います。イベントに積極的に参加できず申し訳ありませんが、皆様の楽しそうな写真を楽しみにしています。

イベントの時に食べた、上山のお米は最高に美味しかったです。お体を大切になさってください。

いつも全力で頑張る姿に敬服！ お酒を浴びさせてあげたい！ 田んぼの草抜きの日には長靴が脱げてしまい田んぼにダメージを与えてしまって・・・大変失礼しました！ 次回からは、田んぼ用の靴を新たに買って参加します。

縁あって繋がった英田上山棚田団さん。住んでる場所との距離で応援が間接的にはなっていますが、活動への応援をしています。



これまで玄米でいただいたお米を、たまには白米で食べようと昨年は精米しました。その美味しさは、今まで食べたことがないくらい贅沢な美味しさで、とても感動して、ついに精米機を買いました！ 棚田米は玄米そのままを発芽させて食べると本当に美味しいのですが、白米で食べるのも贅沢感があっていいなあと思っています。今年は玄米でも白米でも両方楽しもうと、とても楽しみにしています。

車を運転しないので、行きたいのに行けない。写メで頑張っている様子をみられるのがうれしい。ファイト！



引き続き色々よろしくお願いします！ 固定イベントはいけないことが多いので別日で稲刈り等いけたら嬉しいです！

いつもお疲れ様です！ なかなかお手伝いに行けなくなりごめんなさい...何かで貢献できる事をいつも考えています。年々暑くなり大変かと思いますが、どうか体第一で楽しく頑張ってください！

昨年初めて食べた棚田団さんのお米は本当においしくて感動しました！今年度は、かけいで掃除、田植え、草取りと活動に参加して、よりお米愛が深まっています。みなさんにもっとコミットさせていただき、より知っていききたいと思っています。よろしくお願いします。

今回から初めて稲株主参加です。アドベンチャーレースやキャンプで年2回程度しかお邪魔できてませんが、棚田団の方々に応援せずにはいられません！ もう少し仕事の時間との調整ができれば各種作業や野菜部への参加もしたいと思っています。お知らせはすごく楽しく読ませてもらってます。引き続きよろしくお願いします。

いつも細やかな活動報告に感謝しています！ 今年は全然参加出来ていないけど、いつも心には棚田があります。最近お米を追加購入して早速炊いて食べたらずっぱり美味しかったです！ 今年もよろしくお願いします！



いつもありがとうございます

上山棚田の生きもの調査 2025

昔の上山では、人の暮らしと自然がもっと近くにあり、田んぼや大芦池、水路、森のまわりには、今よりもっとたくさんの生きものがいたそうです。では、いまの上山にはどんな生きものがいて、棚田の再生やお米づくり、日々の暮らしはそれらにどんな影響を与えているのか。そんな疑問から、この生きもの調査は始まりました。昔をただ懐かしむのではなく、どんな命が新しく戻ってきているのか。そんなことを知りたくて、考えているだけでは分からないことを調べています。

調査報告

「水辺の生きもの調査」

しらべかた

上山の水辺には、池、小川、水路、田んぼと、見た目は似ていても性格の違う場所がいくつもあります。2025年度の生きもの調査では、こうした水辺の違いに注目しながら、イベントとあわせた定点調査や日々の記録を重ねました。調査は、日常の中で見つけた生きものを写真とともに Google フォームに記録する方法と、池や川に仕掛けを設置して実際に捕獲する方法の両方で進めています。

かんじたこと

この調査は、ただ生きもの名前を増やすためのものではありません。どこに、どんな生きものがいて、どんな環境が残っているのかを知ることで、上山の暮らしの面白さや、気をつけて守りたいことが見えてきます。実際に調査を続ける中で、新たに16種の生きものが観察され、参加者も作業の途中で生きものを見つけると、立ち止まって楽しそうに観察する姿が見られました。



かんさつ

定点調査では、6月の大芦池でアメリカザリガニ4匹、ブルーギルまたはブラックバスの子魚20匹以上、7月の池でウシガエルの卵、オタマジャクシ20匹以上、コイ1匹、アメリカザリガニ2匹を確認しました。一方、6月の川ではドンコ3匹、サワガニ3匹、9月の川ではカワニナ2匹、サワガニ3匹、ドンコ1匹、ハリガネムシ1匹が確認され、池と川で見られる生きものの顔ぶれが大きく違うことがわかりました。池では外来種や止水を好む生きものが目立ち、川では流れのある環境を好む生きものが見られています。

こうした結果は、専門家による水辺の生きもの調査とも重なっています。上山では、水辺で確認した生きものが24種類、周辺の昆虫なども含めると65種類にのぼり、ナガレホトケドジョウやミズカマキリなど、上山らしい水辺環境を示す生きものも記録されました。さらに、大芦池では外来種が見られる一方で、ほかのエリアでは広がりや限定的であることから、今のところ一定の管理が機能していると考えられます。こうして同じ場所を見続けることで、上山の水辺がどう変化しているか、どこを守るべきなのかが少しずつ見えてきています。



調査報告

「鳥類調査（冬）」

鳥類調査では、大芦池、水辺、森林、棚田が連続する上山の環境の中で30種以上の鳥が確認され、環境ごとに異なる特徴が見られました。特に、管理された棚田では種数・個体数ともに多く、人の営みが生きもの多様性を支えていることが確かめられました。また、2025年12月には大芦池でコウノトリの飛来も確認され、上山の水辺環境の豊かさを示す出来事となりました。

また、今年度は冬の鳥類調査だけでなく、年間を通じた生きもの調査の流れの中で、フクロウの生息調査にも着手しました。地元住民へのヒアリングと鳴き声調査の結果、上山西地区の山林では、6月～11月の主に19時半～23時ごろにフクロウの声がよく聞こえることがわかり、目撃情報や鳴き声情報のある場所をもとに3か所へ巣箱を設置しました。フクロウは、森だけで生きる鳥ではなく、餌となるネズミなどの小型哺乳類、カエルなどの両生類、大型昆虫類が身近にいることではじめて暮らし続けられる鳥です。巣箱の利用状況はまだ確認できていませんが、今後も鳴き声調査や観察を重ねながら、フクロウを含めた上山の野鳥の姿を継続して見ていきたいと考えています。



協力：作州野鳥の会

今回の調査では、大芦池周辺、水辺、森林、棚田の4地点で30種以上を確認することができました。確認種数は、水辺19種、森林5種、管理された棚田18種、管理の弱い棚田10種で、環境による違いがはっきり分かれました。池ではハシビロガモ、マガモ、コガモなどのカモ類が多く、2025年12月にはコウノトリも飛来。森林ではヒガラやメジロ、管理された棚田ではジョウビタキ、カシラダカ、アオジなどが確認されました。池・森・棚田がつながり、とくに人の手が入る棚田でのお米づくりが鳥の多様性を支えています。引き続き、季節ごとの観察を続けます。



「調査結果からの考察」

池や小川、水路、棚田、森がつながっている上山では、水辺の小さな生きものたちがその環境を支え、その豊かさに引かれるように鳥たちも集まってきました。人の手で棚田や水路を守ることが、さまざまな命と一緒に暮らせる里山を守ることに繋がっているのだと、今回の調査からあらためて感じられました。水辺や森の生きものを知ることが、棚田を守ることの意味を身近に感じる入口にもなっています。

調査に基づく獣害対策の計画と実践

活動の背景と目的

この地域で里山の保全を続けるためには、捕獲や柵による獣害対策が欠かせません。しかし現在、上山地区には狩猟者が2人しかおらず、捕獲のみの対策では解決できません。すべての住民が主体となった対策が必要不可欠です。そのため調査と獣害対策の計画、実践を行います。

調査・可視化の取組み

調査報告 ▶ 2024年2月の調査に続き、7月には夏場の調査を行い、季節による変化があるか確認しました。調査方法はエリア内における足跡を踏査する方法です。比較結果は右図に示しています。冬と夏では日当たりの良さや、餌場と水源による個体群の変化が見られました。2月調査では明らかに西側山林の水源近くに個体群があり、その道沿いの住民からの目撃情報も多数。またユズなどの果樹の実がなっただまま放置されているところにはシカが餌場として通っていることも足跡踏査からわかりました。7月調査では、シカが出産時期を終えており、個体数が冬場より増加。稲作へ用いる用水路には潤沢な水があるため、シカにとって水を確保しやすい水路沿いや、涼しい山林に個体群があるように思えます。これにより、シカ、イノシシの生息場所は季節による変化があることがわかったので、獣害対策や捕獲予定地点も必要に応じて変えて行きます。

シカ、イノシシの調査分布図&捕獲予定箇所



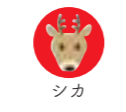
捕獲予定箇所



踏査ルート



稲作農地



シカ



イノシシ



シカ

(冬) 足跡確認 40 頭

(夏) 足跡確認 56 頭

(冬) 餌場推測 5 頭

(夏) 餌場推測 5 頭

イノシシ

(冬) 足跡確認 5 頭

(夏) 足跡確認 11 頭

計画と対策の実施

実施報告 ▶

- 調査結果に基づき以下を実施しました。
- ・電気柵、メッシュ柵の設置強化
 - ・ヤギによる草地管理などの緩衝帯整備
 - ・集落内の防護柵点検と維持管理

地域連携と学び

学び報告 ▶

- 獣害対策の講師を招いての勉強会を開催しました。
- ・野生動物は光、音、匂いなどによる効果が薄い。
 - ・まずは各々が田畑をしっかり柵で守ることが大切。
 - ・電気柵は、冬場にスイッチを入れない場合は回収する。
 - ・柵をしたうえで、集落に現れる個体の捕獲が大切。
 - ・獣害対策勉強会は何度も行う。

専門家と山に入り、足跡や糞を調査



獣害対策の勉強会を集落内で開催



調査や勉強会を活かして農地に獣害柵を設置



山林内
調査
DATA

[調査時期]
2024 年
(冬) 2月調査
(夏) 7月調査

[調査方法]
踏査による糞粒確認
足跡確認など
山林、農道、市道

[調査山林]
岡山県美作市上山
地図範囲 約 4 km²
管理農地 20ha
稲作農地 5ha
水路延長 30km 以上



はじまりました！ 上山棚田共育自然学校

2025年の上山棚田共育自然学校 | 1泊2日 親子体験プログラム

上山棚田共育自然学校では、2025年度では火おこし、沢遊び、生きもの観察、稲刈り、命と食の学びなどを通じて、自然と暮らしのつながりを体感する場づくりを進めました。単なる自然体験にとどまらず、水路掃除や地域住民との交流も組み込み、上山の棚田が日々の営みによって支えられていることを学べる内容になりました。

みんなで棚田の中に飛び込み、体験を通じて学びましょう！

2026年も1泊2日のプログラムを年5回開催

2026年度も自然体験イベントだけではなく、地域の自然や暮らしに段階的に関わる学びの場とします。

【体験できること】

- ・5月16-17日 地域の水路掃除、太陽光を活かすパネルづくり
- ・7月18-19日 夏満喫遊び盛沢山、スイカ割り、花火、沢遊び、サワガニキャッチ
- ・8月未定 夏休み満喫遊び盛沢山
- ・10月24-25日 火おこし、命をいただくニワトリ解体

【宿泊について】

- ・棚田の中にみんなでテントを張って宿泊！（みんなで非日常体験）
- ・食事はみんなで作るスタイル（自然の恵みをみんなで調理）
- ・お風呂は温泉・トイレは共同で、自然に囲まれた静かな環境

【参加概要】

- ・開催日程：2025年 / 全5回開催予定・各回1泊2日
- ・開催地：いちよう庵 / 美作市上山2135
- ・参加費：大人8000円、子ども6000円（予定）
*詳しくはHPにてご確認頂くか、お問合せください
- ・定員：20人前後
団体の方も記載日程以外でお気軽にお問い合わせください。

【こんなご家庭におすすめ！】

- ・お子様に町ではできない自然体験をさせたい
- ・食の大切さや農業を学びたい
- ・親子で思いっきり体を動かしたい！
- ・他の親子や学生と交流しながら成長したい



毎回ジビエ試食あります！



ニワトリさんいただきます！



上山サワー



プログラムに関する
詳細・お問い合わせ
はこちらのQRから

WANTED

ボランティア募集！

自然の中で、新しい経験をしませんか？

「農業」「環境」「教育」に興味のある学生必見！

里山で地域と関わり、学びをサポートしましょう。

里山ウェルビーイング 事業視察 研修報告

1 事業の目的

上山で里山ウェルビーイング事業を始めるにあたり、森林セラピーの基礎知識と導入条件を学ぶため、研究会参加と先進地視察を実施しました。



2 実施内容

森林セラピー研究会への参加により、医学的な視点を含む基礎知識を学びました。さらに、福岡県うきは市つづら棚田を訪問し、セラピー体験、関係団体・自治体へのヒアリングを行いました。



3 分かったこと

森林セラピーは、自然の中で心身を整えるだけでなく、地域資源を活かした新たな交流や価値づくりにもつながること。一方で、導入には資格取得や自治体との連携、運営体制づくりが必要であることも分かった。



4 今後の展開

資格取得を進めるとともに、先進地事例を参考にしながら、美作市や岡山県とも連携し、上山ならではの森林セラピー・里山ウェルビーイング事業の導入を検討していきます。



英田上山棚田団

×

高見味噌店

【糀シリーズ】

定番の「塩こうじ」や「甘酒」に加え、砂糖の代用としてお料理に使って欲しい「甘こうじ」。主役の調味料にも、名脇役の調味料にもなれる「辛こうじ」と「甘辛こうじ」。甘こうじをベースとした辛さと旨みのバランスがちょうど良い甘辛こうじはリピート率No.1。塩こうじベースにガツンと辛みを加えた辛こうじも根強い辛党ファンに人気の商品。どれも日常の中に取り入れやすいお味に仕上がっています。塩味、甘味、辛味の新しい定番としてご家庭にひとつ常備ください！



上山逸品初の常設販売！



2025年11月より両備ストアさんが運営するスーパー「森のマルシェ柳川店(岡山市)」で上山逸品の取り扱いが始まりました！ 棚田米、糀シリーズ、味噌、玄米コーヒーなど、棚田から生まれた商品をずらりと並べています。

上逸 山品 UEYAMA IPPIN

UEYAMA
FINE
PRODUCT



岡山県美作市にある人口170人の小さな集落、「上山地区」。棚田を再生させ、農業、林業、酒造りなどにも取り組みながら、電気自動車（モビリティ）を活用する。現代の知恵も積極的に取り入れながら、本来日本に存在した古き良き生活様式を再考・再生し、新しい生活様式として更新・維持する。そんなポータブルでオルタナティブな、新しい中山間地域での暮らしを実践する多種多様な生産者たちが、暮らしのサイクルの中で自然と生み出してきた上山の生産物たち。それが「上山逸品」です。

英田上山棚田団

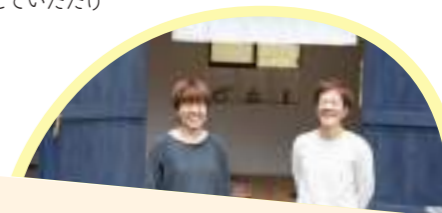
耕作放棄地の棚田を再生させて栽培している棚田団のお米。標高が高く寒暖差のある気候、棚田の谷を吹き抜ける風、山の頂上から流れて田んぼに入る水。稲刈りのあとは、昔ながらのハゼ掛けによる天日乾燥でゆっくり粉を追熟させることで旨みを凝縮。そんな美味しさ詰まった棚田米を沢山の方々にご賞味頂けるように広げて行きたいと考えています。



| instagram |

コツコツと暮らしを手づくりしています。

1000年続く棚田でお米作りをしながら日本の手仕事を学び、その技を少しでも残すことができればと製品づくりや体験の場づくりを行っています。「mano」はスペイン語で手を意味します。手から生み出され、手から手へ。手に触れて使ってください、手の温もりを感じてられるような作品づくりが心がけています。自然と手仕事がおこなう作品は地道な作業や季節ごとの日々の生活の積み重ねから生み出されます。古くから続くこの営みを少しでも感じていただけると幸いです。



Hello, Garlic!

「売りたい」よりも「愛が勝つ」
上山のんにんにく栽培

上山でにんにく栽培が始まったのは2010年。美作市役所職員のK氏から「素人でもにんにくなら作れるから植えてみんちゃい」と棚田団メンバーが種を分けてもらったことがきっかけです。K氏の役場の机の中には野菜の種や農業関連本がぎっしり詰まっていたのはここだけの話。種を植えてみたら、素人でも本当によくできてびっくり。そこからは、にんにくをこよなく愛する棚田団メンバーが1人また1人と栽培に加わるようになり、気がつけばにんにく生産部が発足していました。収穫直後限定の「生にんにく」や加工の王道「黒にんにく」の販売。地域のお母さんたちがつくる「上山のたれ」にも上山産にんにくがふんだんに使われています。にんにく愛が溢れすぎて、毎年7月にはにんにく三昧な料理や企画が楽しめるウエヤマガーリックナイトも開催しています。皆さまも上山のんにくに愛に浸ってみてはいかがですか？

上山にんにく生産部



| online store |



Tsunag.



| online store |

野生と向き合い、いただく命が、次世代の里山を育てる。

狩猟は、ただ獲物を仕留めるだけでなく、自然と向き合い、命の大切さを実感する行為です。獲った命を最大限に活かすことが狩猟の本質だと私は思っています。生きるために肉をいただき、その鹿革を使った製品づくりに取り組んでいます。鹿革はしなやかで肌触りがよく、使うほどに手に馴染みます。野生の鹿皮には傷がありますが、それは岡山の山々を生き抜いた証です。その個性もまた、自然の中で生きてきたことの魅力です。狩猟で得られるものは肉や革のほか、人間らしく自然と共に生きる力などの学びです。この狩猟の魅力をジビエや製品・体験を通してもっと多くの人に伝えて行きます。





棚田の集落への入り口。里山での自足生活を考える場所として、様々な方にご利用頂きたいお宿です。

古民家体験宿

棚田サ寮

■ 詳細はHPへ

<https://www.to-arunet>



かげひなた

日の出から日暮れまで、目の前の棚田に映し出される‘かげとひなた’に心休めて頂きたい。藁細工や木工体験のご相談も。

民泊

かげひなた

■ 詳細はTABITO紹介サイトへ

✉ kagehinata1204@gmail.com



sumiCa

上山で生産されている「炭」をコンセプトにしたお宿。お部屋の各所に炭を感じられる仕掛けをお楽しみください。

民泊

炭家 -sumiCa-

■ 予約はみんなの孫プロジェクトHPのお問い合わせから



英田上山棚田団

稲株主優待一覧表

* 詳細、最新情報は棚田団HPにてご確認ください

【NPO法人英田上山棚田団】

オンラインショップ 5%OFF

(稲株券と共にクーポンコードをお届け)

古民家いちょう庵を稲株主価格で貸切

【大芦高原温泉雲海】

集落内にある天然温泉施設。作業後にゆったり入る温泉は格別！

入浴料200円割引

【かげひなた(宿)】

上山で木工や藁細工など手仕事をナリワイとする主が運営する宿

宿泊時の朝食代無料

【大芦高原キャンプ場】

エリアごとに違った自然を満喫できるキャンプ場。レンタル品も充実。

レンタル品に使える3,000円チケット

(1回限り/年)

【手仕事屋manomano】

上山棚田でお米作りをしながら、木工や藁細工などを手がけるユニット

藁細工や木工商品が5%OFF
(稲株券と共にクーポンコードをお届け)

【棚田サ寮(宿)】

自作の囲炉裏や五右衛門風呂がある、DIYし続ける古民家宿

宿泊料金が稲株主様価格

【Tsunag.
(鹿革製品と宿)】

猟師が手掛ける鹿革製品とお宿

鹿革商品5%引き(対面販売のみ)

囲炉裏のお宿zenの宿泊が稲株主価格

【と或るコテージ(宿)】

集落内の貸農園内にある棚田サウナ付きの宿

2泊目無料

【sumiCa(宿)】

上山で生産されている「炭」をコンセプトにしたお宿。

宿泊料金が10%引き



集落の頂上にある天然温泉施設。温泉をひいた『湖畔のバンガロー』。ご家族や団体様にもおすすめのお宿です。

バンガロー

大芦高原温泉 雲海

■ 詳細はHPへ

TEL: 0868-74-2585



囲炉裏のお宿



zen

大芦地区が大好きだったおじいさんが生まれ育った場所にある古民家のお宿。部屋では囲炉裏を、外では焚き火も楽しめます。

民泊

囲炉裏のお宿 zen

■ 予約は楽天へ

✉ umetani1031@gmail.com

* 稲株主様料金は個別にお問合せください。



Tsunag.

狩猟をし、鹿革製品を作る家族が営む宿。自らリノベーションした築100年の古民家をお楽しみください。

民泊

Tsunag.

■ お問い合わせはメールへ

✉ tsunag4451@gmail.com

どこでツカエルかなあ



様々なお客様がアウトドアを楽しめる環境を用意しております。初心者の方から上級者の方まで、自然を愛する方なら大歓迎！

キャンプ場

oh!Ashi Forest

■ ご予約はHPへ

<https://oh-ashi-forest.com>



スモーカーな燻製サウナとヤギちゃんエリアに隣接する農園のなかにある一棟貸しのコテージです。

一棟貸しコテージ

と或るコテージ

■ ご予約はメールかLINEへ

✉ ohayo@to-arunet

